

# 世界の森からお手元へ

お客様にご協力いただきたいお願いをご紹介します。

世界中の森で育まれた木材を、全て手作業で仕上げてお届けしています。

お客様のご協力が、大切な資源のロスをなくすことに繋がります。

ぜひご一読いただき、可能な部分に関してはご理解とご協力をいただけましたら幸いです。

## 梱包開封時のお願い



木材はとても繊細な素材です。社内基準に合格した商品のみを出荷しておりますが、樹種やサイズ、輸送中の環境が重なって、お届けするまでに不備が発生する場合がございます。

開封時に見つかったトラブルのうち、**ごく簡単に解消が可能なものに限って**、お客様に個別に調整、修正をお願いさせていただく場合がございます。

### ■ 無塗装材の毛羽立ち

季節や輸送中の条件などによっても起こりやすい、木材の特性です。気になる部分は240番程度のペーパーサンダーで軽く整えると綺麗に取れます。

### ■ 面取り部分の軽微なへこみ

面取りの形状によっては、軽微なへこみが非常につきやすいです。

**無塗装の場合**・・・240番程度のペーパーサンダーで軽く整えると目立たなくなります。

**オイル塗装の場合**・・・ペーパーサンダーで整えた後、ウエスでオイル(自然塗料)を塗ります。

### ■ サンダー粉

研磨作業で出た細かな木粉が白く残って見える場合があります。

多くの場合はウエス(柔らかい布)で乾拭きすれば綺麗に取れます。

### ■ ごく軽微な割れ

樹種によって、どうしても避けられない場合がございます。程度によってはごく簡単な作業で補修することができます。

お客様のお手元での調整にご協力いただける場合は、作業に必要な材料は無償でお送りします。こうした事例を含め、商品不備への対応は商品到着後3営業日以内受付とさせていただきます。

**商品到着後は、まずはお早めの確認・ご連絡をお願いいたします。**

# 木材のメンテナンスとお手入れ

この度、ご購入いただきありがとうございます。

永くご愛用いただくための、木材のメンテナンスとお手入れの方法について、ぜひご一読下さい。

## 商品について

### ●自然塗装の木材のお手入れ

#### 普段のお手入れ



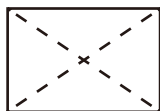
普段のお手入れは固く絞った水拭きで。自然塗装の天板の場合は輪ジミを防ぐためにコースター等の使用が有効です。

#### インク汚れを綺麗に



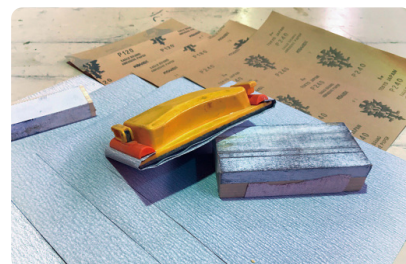
おすすめ!

オスモ  
ワックスアンドクリーナー



汚れが落ちなくなってきた時は、汚れ落とし用の油性ワックスがおすすめ。塗装面の汚れを落としながら自然なツヤを引き出します。

#### しつこい汚れを落とす



シミなどを消したい時には汚れた部分をサンディングします。汚れが取れたら、綺麗なウェスで塗料を塗ります。塗装後の拭き取りも忘れずに。

### ●ウレタン塗装の木材のお手入れ

ウレタン塗装は基本的にはワックスやサンディングでのお手入れはできません。基本は水拭きし、ひどく汚れた場合は希釈した中性洗剤で拭き取ってください。再塗装には専門の技術が必要です。

## 傷がついた時（無塗装の場合）

日常生活のなかで、尖ったものなどで1点に圧力をかけてしまうと板が傷ついてしまったり、へこんでしまうことがよくあります。無塗装の木材で、かつ軽微な傷であれば、下記の方法で補修できる場合があります。

### ●アイロン補修の方法



へこみに水を垂らし、5分ほど放置して給水させます。



当て布をし、低温のアイロンでスチームをあてます。



木が水分で膨らみ、へこみが目立たなくなります。



サンディングして毛羽立ちを取り除きます。

※水分を与えると無塗装材は毛羽立ちます。必ずサンディングで仕上げてください。

※あくまで簡易的な補修方法なので、どんな傷でも綺麗になる訳ではありません。